

# CONTENTS

はじめに ..... 3  
本書の構成と活用法 ..... 6

## Unit 1

- 特訓 01 オバマ米大統領就任演説ハイライト ①「冒頭」 ..... 10  
Highlights of President Obama's inaugural address (Part 1)
- 特訓 02 オバマ米大統領就任演説ハイライト ②「難問山積」 ..... 16  
Highlights of President Obama's inaugural address (Part 2)
- 特訓 03 オバマ米大統領就任演説ハイライト ③「米国再生」 ..... 22  
Highlights of President Obama's inaugural address (Part 3)
- 特訓 04 オバマ米大統領就任演説ハイライト ④「テロと平和」 ..... 28  
Highlights of President Obama's inaugural address (Part 4)
- 特訓 05 オバマ米大統領就任演説ハイライト ⑤「責任の時代」 ..... 34  
Highlights of President Obama's inaugural address (Part 5)
- AS SAM SEES IT 1 暗唱に最適、大統領就任演説 ..... 40

## Unit 2

- 特訓 01 相思相愛だったマイケルと日本 ①「追悼」 ..... 42  
Jackson enjoyed loyal following in Japan (Part 1)
- 特訓 02 相思相愛だったマイケルと日本 ②「親日」 ..... 48  
Jackson enjoyed loyal following in Japan (Part 2)
- 特訓 03 相思相愛だったマイケルと日本 ③「忠実」 ..... 54  
Jackson enjoyed loyal following in Japan (Part 3)
- 特訓 04 相思相愛だったマイケルと日本 ④「愛とカネ」 ..... 60  
Jackson enjoyed loyal following in Japan (Part 4)
- 特訓 05 相思相愛だったマイケルと日本 ⑤「甘い汁」 ..... 66  
Jackson enjoyed loyal following in Japan (Part 5)
- 特訓 06 相思相愛だったマイケルと日本 ⑥「追慕」 ..... 72  
Jackson enjoyed loyal following in Japan (Part 6)
- AS SAM SEES IT 2 元同僚が描いたマイケル ..... 78

## Unit 3

- 特訓 01 「壁と卵」村上春樹エルサレム賞受賞スピーチ ① ..... 80  
Of Walls and Eggs By Haruki Murakami (Part 1)
- 特訓 02 「壁と卵」村上春樹エルサレム賞受賞スピーチ ② ..... 86  
Of Walls and Eggs By Haruki Murakami (Part 2)

- 特訓 03 「壁と卵」村上春樹エルサレム賞受賞スピーチ ③ ..... 92  
Of Walls and Eggs By Haruki Murakami (Part 3)
- 特訓 04 「壁と卵」村上春樹エルサレム賞受賞スピーチ ④ ..... 98  
Of Walls and Eggs By Haruki Murakami (Part 4)
- 特訓 05 「壁と卵」村上春樹エルサレム賞受賞スピーチ ⑤ ..... 104  
Of Walls and Eggs By Haruki Murakami (Part 5)
- 特訓 06 「壁と卵」村上春樹エルサレム賞受賞スピーチ ⑥ ..... 110  
Of Walls and Eggs By Haruki Murakami (Part 6)
- 特訓 07 「壁と卵」村上春樹エルサレム賞受賞スピーチ ⑦ ..... 116  
Of Walls and Eggs By Haruki Murakami (Part 7)
- 特訓 08 「壁と卵」村上春樹エルサレム賞受賞スピーチ ⑧ ..... 122  
Of Walls and Eggs By Haruki Murakami (Part 8)
- 特訓 09 「壁と卵」村上春樹エルサレム賞受賞スピーチ ⑨ ..... 128  
Of Walls and Eggs By Haruki Murakami (Part 9)

AS SAM SEES IT 3 編集作業は緊張！ ..... 134

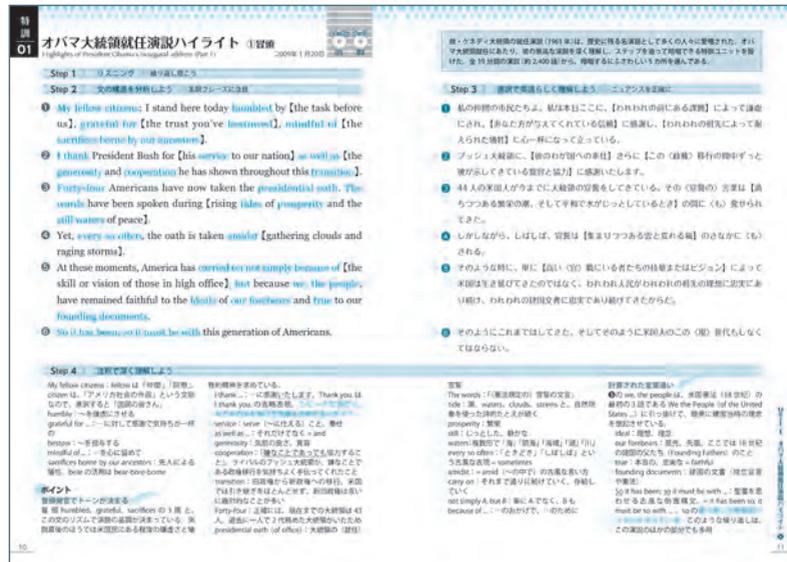
## Unit 4

- 特訓 01 鳩山首相国連演説 ①「政権交代」 ..... 136  
Hatoyama's U.N. speech (Part 1)
- 特訓 02 鳩山首相国連演説 ②「国際公約」 ..... 142  
Hatoyama's U.N. speech (Part 2)
- 特訓 03 鳩山首相国連演説 ③「前提条件」 ..... 148  
Hatoyama's U.N. speech (Part 3)
- 特訓 04 鳩山首相国連演説 ④「途上国援助」 ..... 154  
Hatoyama's U.N. speech (Part 4)
- 特訓 05 鳩山首相国連演説 ⑤「鳩山イニシアチブ」 ..... 160  
Hatoyama's U.N. speech (Part 5)
- 特訓 06 鳩山首相国連演説 ⑥「ポスト京都」 ..... 166  
Hatoyama's U.N. speech (Part 6)
- 特訓 07 鳩山首相国連演説 ⑦「持続可能な社会」 ..... 172  
Hatoyama's U.N. speech (Part 7)

覚えておきたい単語 ..... 178

# 本書の構成と活用法

本書は、同時通訳の基礎訓練法や、英字新聞社での新人記者研修をベースとしてあります。10ステップ学習法により英文を読んでいき、最高レベルの英語表現ができるようになるまで練習しましょう。



## Step 1 ……リスニング

まずは付属CDを何回も聞いて、耳を慣らしましょう。CDプレーヤーをリピート(繰り返し)モードにセットして聞くのがコツです。

## Step 2 ……文の構造を分析しよう

読解文の構造がひと目で見分けられるようにしてあります。構造を分析しながら、読み進めていきましょう。

## Step 3 ……直訳で英語らしく理解しよう

本書の特長である、英文に忠実な直訳調の訳文になっています。英文と対比しながら、理解していきましょう。

## Step 4 ……注釈で深く理解しよう

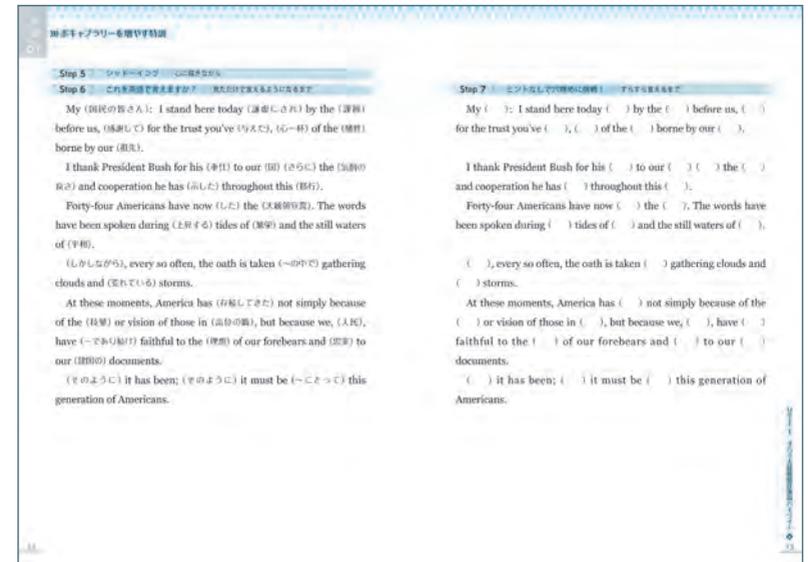
コア意味や文法など、丁寧な注釈をつけました。時間をかけて、じっくり学びましょう。

最初の見開き (Step 1-4) は、英文を深く理解する特訓です (精読)。

次の見開き (Step 5-7) は、ボキャブラリーを増やす特訓です (穴埋め)。

最後の見開き (Step 8-10) は、英語を書き・話す特訓です (反訳)。難しい場合は、1文ずつ進みましょう。つまり点が多い場合は、以前の Step に戻りましょう。

英字新聞の記者研修では、このような特訓を週に数本ずつこなします。やがて定番表現が身に付き、ボキャブラリーも充実します。



## Step 5 ……シャドーイング

シャドーイング (聞きながら直後にリピート) やディクテーション (書き取り) をすることで、表現が身に付きます。

## Step 6 ……これを英語で言えますか?

単語やフレーズの部分を日本語にした穴埋め問題です。日本語を見ただけで言えるようになるまで、練習しましょう。前ページをめくるとすぐに英文を参照できるようになっています。

## Step 7 ……ヒントなしで穴埋めに挑戦!

Step 6 と同じ穴埋め問題ですが、日本語のヒントはありません。ヒントなしでどこまでできるか、チャレンジしてみましょう。

# オバマ大統領就任演説ハイライト ①冒頭

Highlights of President Obama's inaugural address (Part 1)

2009年 1月20日

オバマ 大統領

01 02

## Step 1 リスニング 繰り返し聞こう

## Step 2 文の構造を分析しよう 名詞フレーズに注目

- ① **My fellow citizens:** I stand here today **humbled** by [the task before us], **grateful for** [the trust you've **bestowed**], **mindful of** [the **sacrifices borne by our ancestors**].
- ② I thank President Bush for [his **service** to our nation] **as well as** [the **generosity** and **cooperation** he has shown throughout this **transition**].
- ③ **Forty-four** Americans have now taken the **presidential oath**. **The words** have been spoken during [rising **tides** of **prosperity** and the **still waters** of peace].
- ④ Yet, **every so often**, the oath is taken **amidst** [gathering clouds and raging storms].
- ⑤ At these moments, America has **carried on not simply because of** [the skill or vision of those in high office], **but because we, the people**, have remained faithful to the **ideals** of **our forebears** and **true** to our **founding documents**.
- ⑥ **So it has been; so it must be with** this generation of Americans.

## Step 4 注釈で深く理解しよう

- My fellow citizens : fellow は「仲間」「同僚」。citizen は、「アメリカ社会の市民」という文脈なので、意識すると「国民の皆さん」
- humble : ~を謙虚にさせる
- grateful for ... : ...に対して感謝で気持ち一杯の
- bestow : ~を授与する
- mindful of ... : ...を心に留めて
- sacrifices borne by our ancestors : 先人による犠牲。bear の活用は bear-bore-borne

性的精神を求めている。

- I thank ... : ...に感謝いたします。Thank you. は I thank you. の省略表現。スピーチ冒頭では、**有力者の名を挙げて感謝を表明するのがマナー**
- service : serve (〜に仕える) こと、奉仕
- as well as ... : それだけでなく = and
- generosity : 気前の良さ、寛容
- cooperation : 「嫌なことであっても協力すること」。ライバルのブッシュ大統領が、嫌なことである政権移行を気持ちよく手伝ってくれたこと
- transition : 旧政権から新政権への移行。米国では引き継ぎをほとんどせず、新旧政権は互いに敵対的なことが多い
- Forty-four : 正確には、現在までの大統領は 43 人。過去に一人で 2 代務めた大統領がいたため
- presidential oath (of office) : 大統領の (就任

### ポイント

#### 冒頭発言でトーンが決まる

冒頭 humbled、grateful、sacrifices の 3 語と、この文のリズムで演説の基調が決まっている。演説最後のほうでは米国民にある程度の謙虚さと犠

故・ケネディ大統領の就任演説 (1961 年) は、歴史に残る名演説として多くの人々に愛唱された。オバマ大統領就任にあたり、彼の崇高な演説を深く理解し、ステップを追って暗唱できる特訓ユニットを設けた。全 19 分間の演説 (約 2,400 語) から、暗唱するにふさわしい 5 カ所を選んである。

## Step 3 直訳で英語らしく理解しよう ニュアンスを正確に

- ① 私の仲間の市民たちよ。私は本日ここに、【われわれの前にある課題】によって謙虚にされ、【あなた方が与えてくれている信頼】に感謝し、【われわれの祖先によって耐えられた犠牲】に心一杯になって立っている。
- ② ブッシュ大統領に、【彼のわが国への奉仕】さらに【この〈政権〉移行の間中ずっと彼が示してきている寛容と協力】に感謝いたします。
- ③ 44 人の米国人が今までに大統領の宣誓をしてきている。その〈宣誓の〉言葉は【満ちつつある繁栄の潮、そして平和で水がじっとしているとき】の間に〈も〉発せられてきた。
- ④ しかしながら、しばしば、宣誓は【集まりつつある雲と荒れる嵐】のさなかに〈も〉される。
- ⑤ そのような時に、単に【高い〈官〉職にいる者たちの技量またはビジョン】によって米国は生き延びてきたのではなく、われわれ人民がわれわれの祖先の理想に忠実にあり続け、われわれの建国文書に忠実であり続けてきたからだ。
- ⑥ そのようにこれまではしてきた。そしてそのように米国人のこの〈現〉世代もしなくてはならない。

宣誓

- The words : 「(憲法規定の) 宣誓の文言」
- tide : 潮。waters、clouds、storms と、自然現象を使った詩的たとえが続く
- prosperity : 繁栄
- still : じっとした、静かな
- waters : 複数形で「海」「領海」「海域」「湖」「川」
- every so often : 「ときどき」「しばしば」という古風な表現 = sometimes
- amidst : = amid (〜の中で) の古風な言い方
- carry on : それまで通りに続けていく、存続していく
- not simply A, but B : 単に A でなく、B も
- because of ... : ...のおかげで、...のために

計算された言葉遣い

- ⑤ の we, the people は、米国憲法 (18 世紀) の最初の 3 語である We the People (of the United States ...) に引っかけ、聴衆に建国当時の理念を想起させている。
- ideal : 理想、理念
- our forebears : 祖先、先祖。ここでは 18 世紀の建国の父たち (Founding Fathers) のこと
- true : 本当の、忠実な = faithful
- founding documents : 建国の文書 (独立宣言や憲法)
- So it has been; so it must be with ... : 聖書を思わせる古風な倒置構文。= It has been so; it must be so with ... 。so の繰り返しで格調高いリズムを作っている。このような繰り返しは、この演説のほかの部分でも多用

## » ボキャブラリーを増やす特訓

**Step 5** シェドーイング ◯◯◯心に描きながら

**Step 6** これを英語で言えますか？ ◯◯◯見ただけで言えるようになるまで

My (国民の皆さん): I stand here today (謙虚にされ) by the (課題) before us, (感謝して) for the trust you've (与えた), (心一杯) of the (犠牲) borne by our (祖先).

I thank President Bush for his (奉仕) to our (国) (さらに) the (気前の良さ) and cooperation he has (示した) throughout this (移行).

Forty-four Americans have now (した) the (大統領宣誓). The words have been spoken during (上昇する) tides of (繁栄) and the still waters of (平和).

(しかしながら), every so often, the oath is taken (～の中で) gathering clouds and (荒れている) storms.

At these moments, America has (存続してきた) not simply because of the (技量) or vision of those in (高位の職), but because we, (人民), have (～であり続け) faithful to the (理想) of our forebears and (忠実) to our (建国の) documents.

(そのように) it has been; (そのように) it must be (～にとって) this generation of Americans.

**Step 7** ヒントなしで穴埋めに挑戦! ◯◯◯すらすら言えるまで

My ( ): I stand here today ( ) by the ( ) before us, ( ) for the trust you've ( ), ( ) of the ( ) borne by our ( ).

I thank President Bush for his ( ) to our ( ) ( ) the ( ) and cooperation he has ( ) throughout this ( ).

Forty-four Americans have now ( ) the ( ). The words have been spoken during ( ) tides of ( ) and the still waters of ( ).

( ), every so often, the oath is taken ( ) gathering clouds and ( ) storms.

At these moments, America has ( ) not simply because of the ( ) or vision of those in ( ), but because we, ( ), have ( ) faithful to the ( ) of our forebears and ( ) to our ( ) documents.

( ) it has been; ( ) it must be ( ) this generation of Americans.